



SSH 編

わたし、アナタ、min-na

そのすがたがうれしい

No.10

2021年 6月 15日 市立札幌開成中等教育学校便り
〒065-8558 札幌市東区北22条東21丁目1-1
TEL 011-788-6987(代表) FAX 011-781-5629
HP <http://www.kaisei-s.sapporo-c.ed.jp/>

< 6年次課題研究代表プレゼンテーション（北海道大学留学生との交流会） >

6月9日(水)3セッション目「コズモエッセイ」の授業において、本校6年次生の代表グループ 11名が北海道大学留学生に向けて英語によるオーラルプレゼンテーションを行いました。発表した課題研究は以下のとおりです。

- 23班：擬似ホログラムを応用した新しいホログラム様式を開発する**
- 30班：いらないプリントをレベルアップ！**
- 18班：水を100%移し替えるには？**

例年この北大留学生との交流では英語による課題研究のポスターセッションを行ってきましたが、今年度はコロナ禍での実施のため、Zoomを用いたオンラインでの発表となりました。また、オンラインの利点を活かして札幌市立高校の視聴希望者へも配信を行いました。中には転勤された元担任や教科担任の先生方の姿もあり、懐かしの再会も見られました。

昨年度からの海外への渡航制限のため、今回の留学生との交流は貴重な機会となりました。多少の機材トラブルはあったものの、プレゼンに参加した生徒にとっても大きな刺激となったようです。生徒からのリフレクションの抜粋を記載します。

- 交流会を終えて、英語で伝えることの難しさを感じた。自分たちの話す英語がしっかり伝わっているのかと不安に思っていたが、最後のお言葉をいただいたときに自分たちの発表内容に触れて感想をいただけたので安心した。留学生の方から質問をされたときにうまく答えられなかったのが、即興の英語で対応する力がまだまだ自分たちには足りていないと感じた。他の班の発表を聞いていて、どちらも内容の視点が面白く、分かりやすい実験のまとめをしていたのでとても参考になった。聞いてもらっていた同級生からも、プレゼンが見やすかった、英語が分かりやすかったなどの声をもらって自信にもつながったのでとても良かった。
- 今回の交流会は自分たちの成果を文化の異なる人々に伝えることができる貴重な機会になった。これまで留学生との交流イベントには参加したことがなく、緊張や不安もあったが、自信もついた。改めて自分たちの英語がちゃんと伝わっていることが実感でき、自分が外国の方々にプレゼンしているという状況に感動した。
- 北大の留学生の方が積極的に質問をしてくれて、高校生の私たちの研究に興味を持ってくださることが伝わってきて嬉しかったし、普段なかなか話せない人たちと会話できて良かった。北大の留学生の方ともしっかり会話してみたかった。どんな研究をしているか、日本のどこが好きか、なぜ北大を選んで留学したのかなど聞いてみたかった。発表をした人たちはみんな英語でスムーズにプレゼンしていてすごいと思った。緊張しすぎない雰囲気でも楽しく交流できてとても良かった。
- 英語でのプレゼンという普段得られないような経験をすることができてよかった。今回はZoomを使ったオンライン上でのプレゼンということで、アイコンタクトを意識するのは難しい慣れない場であったが、そのような時でも臨機応変に対応していけるようになると、社会に出てからもうまくプレゼンしていけるようになると思う。



代表以外の生徒達は、教室でZoom配信により発表を聴きました。